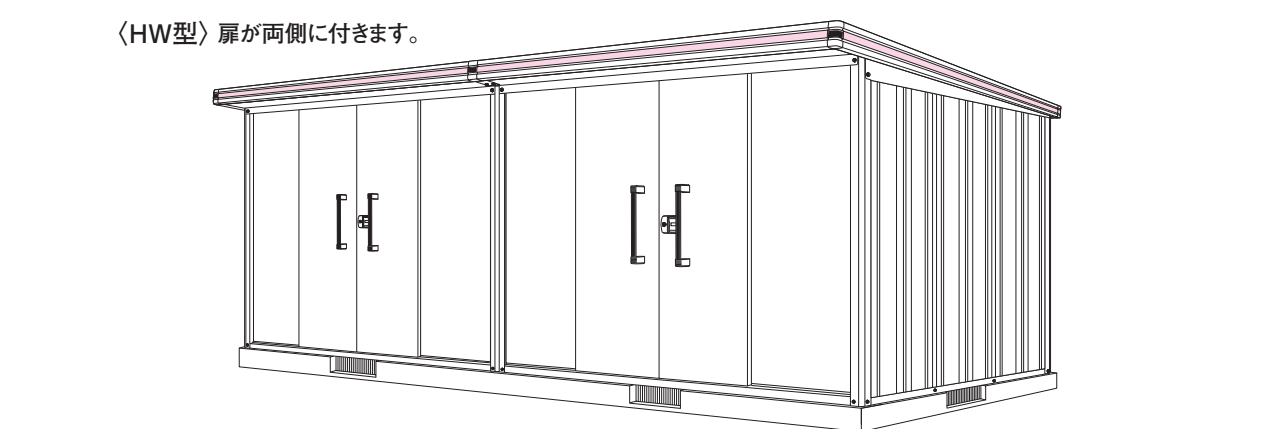
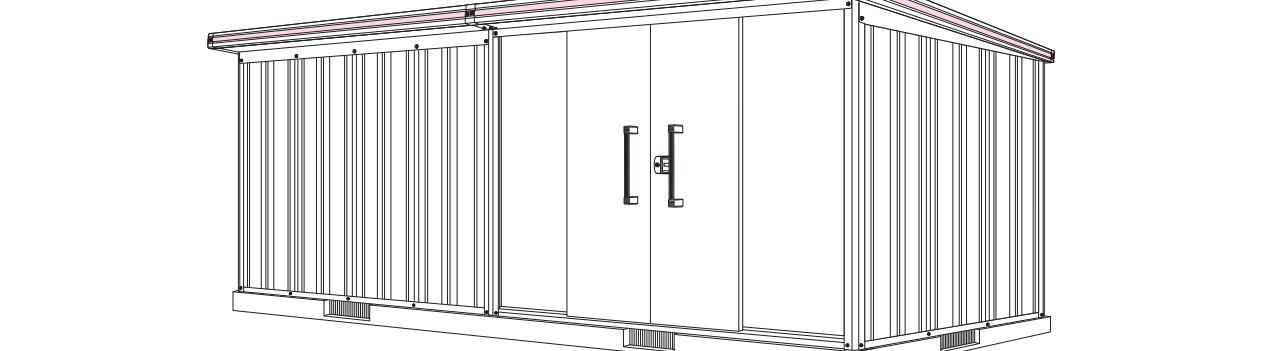
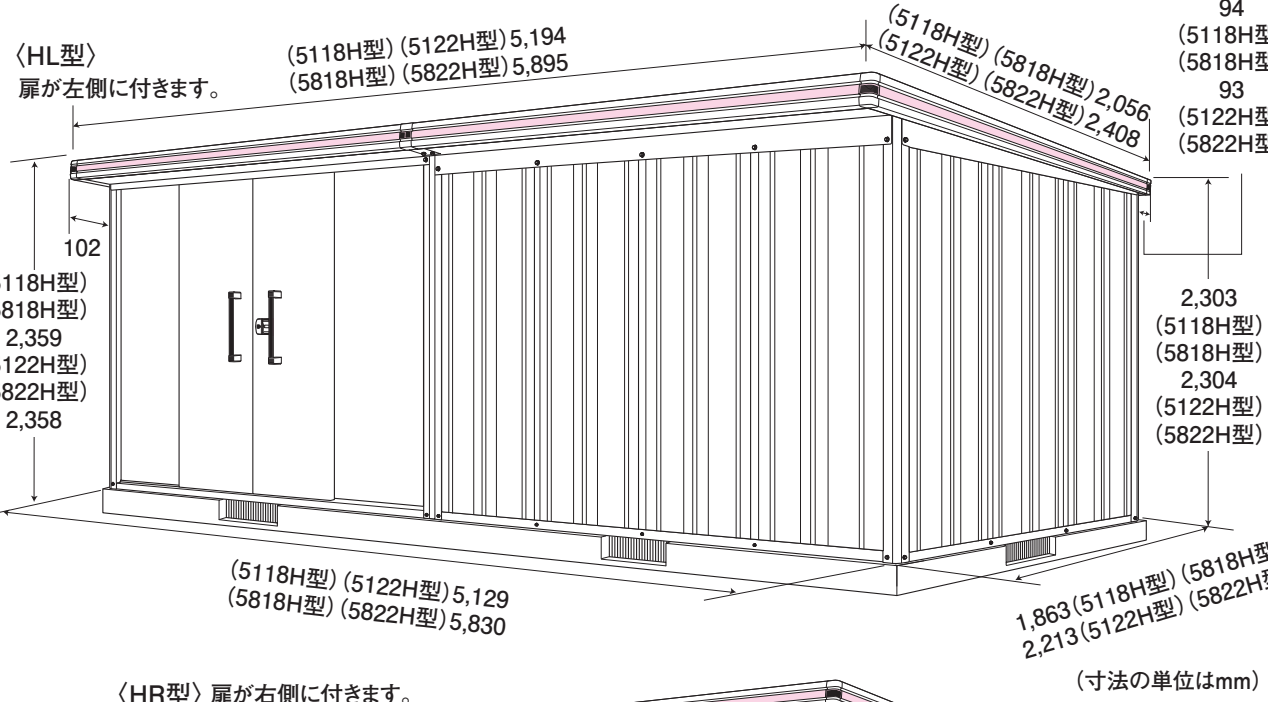


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-5118H型・5122H型・5818H型・5822H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「5822HL型」の組立手順を基準に説明しています。
「HR型」「HW型」も基本的な構造及び組立手順は同じです。よくお読みの上、組立を行ってください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。 ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

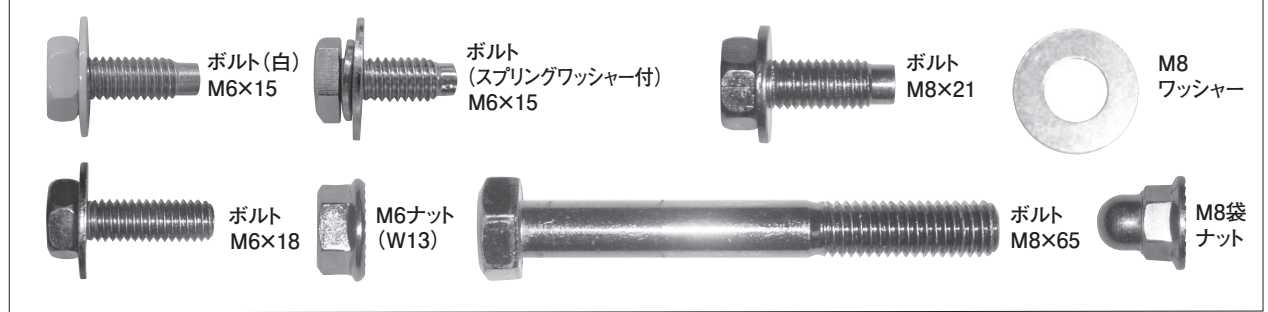
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。「HL型」は扉が左側、「HR型」は右側、「HW型」は両側になります。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 組立てに必要なもの
・軍手・水準器・脚立・M6,M8ボルト締結用のスパナ又はモンキー

●使用ビス一覧



1基礎の施工

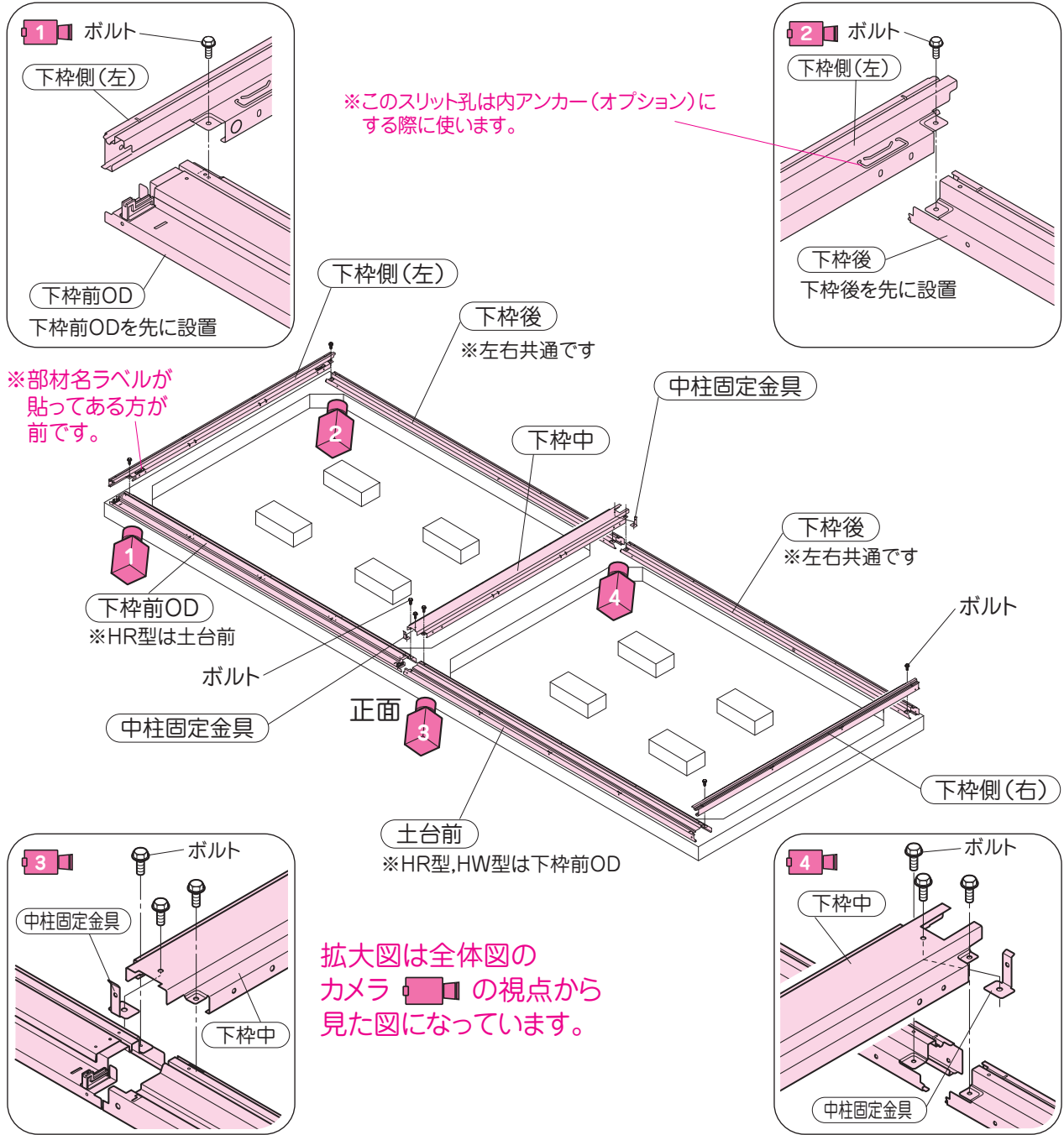
別紙「梱包組合せ表・梱包内容表」裏面「基礎の施工について」をご参照のうえ、基礎を施工してください。

2下枠の組立

※この工程はHL型で説明しています。

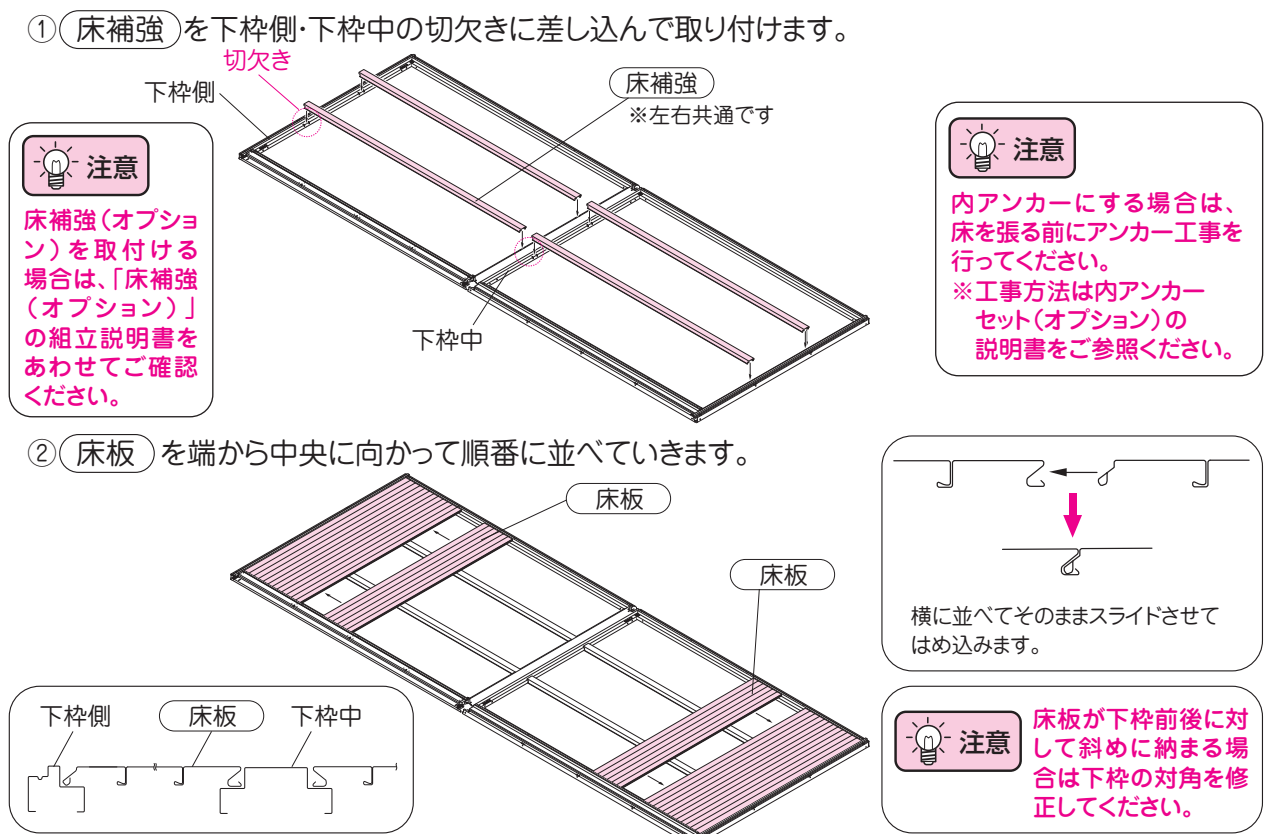
使用ボルト数 10本

- ① 下枠前OD・(土台前)下枠後をコンクリートブロックの上に設置します。
HL型は下枠前ODを左側に、HR型は右側に、HW型は左右両方に並べます。
- ② 下枠側・下枠中を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。1 2 3 4
- ③ 下枠中に(中柱固定金具)をボルト止めします。3 4



3床の設置

使用ボルト数 0本

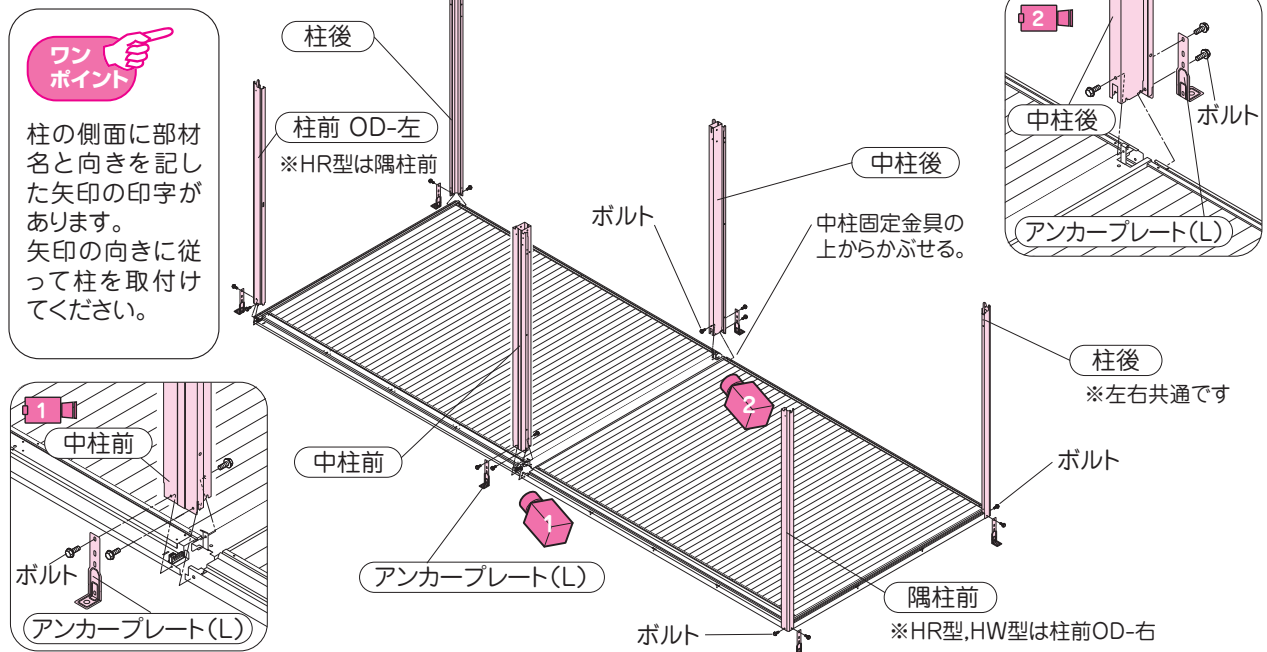


4柱の取付け

※この工程はHL型で説明しています。

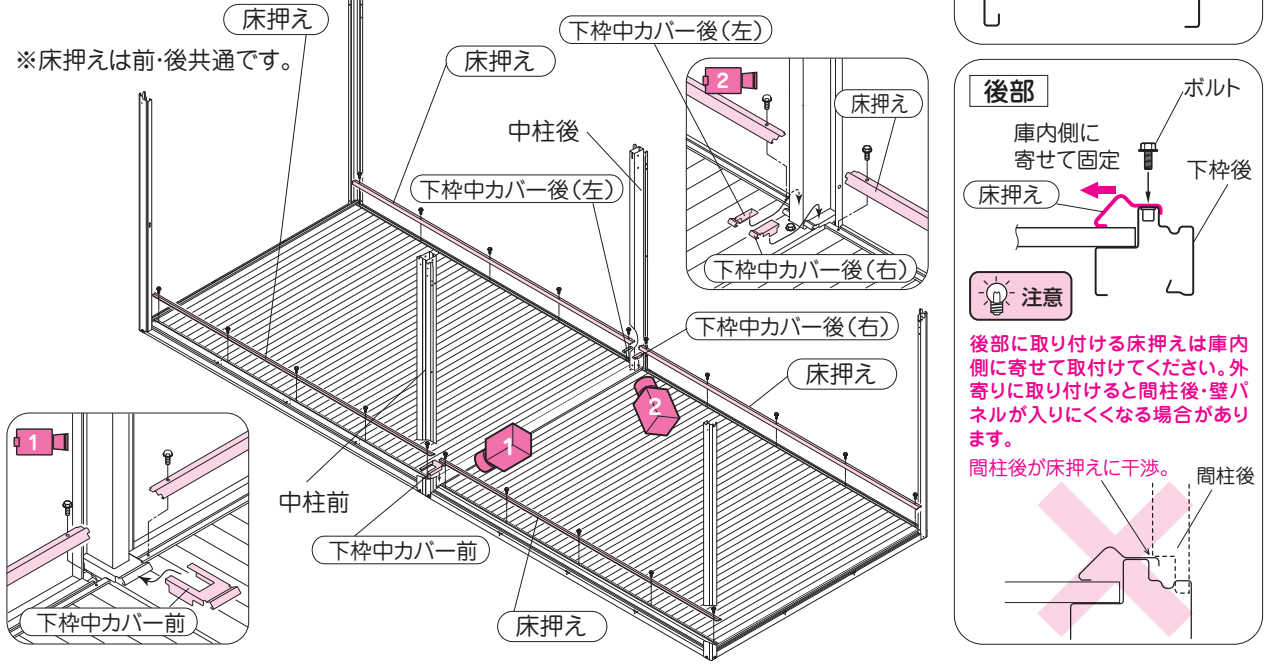
使用ボルト数 14本

- ① 柱前OD・隅柱前・柱後を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)をボルト止めします
- ② 中柱前・中柱後 も同様に差し込みボルト止めします。1 2

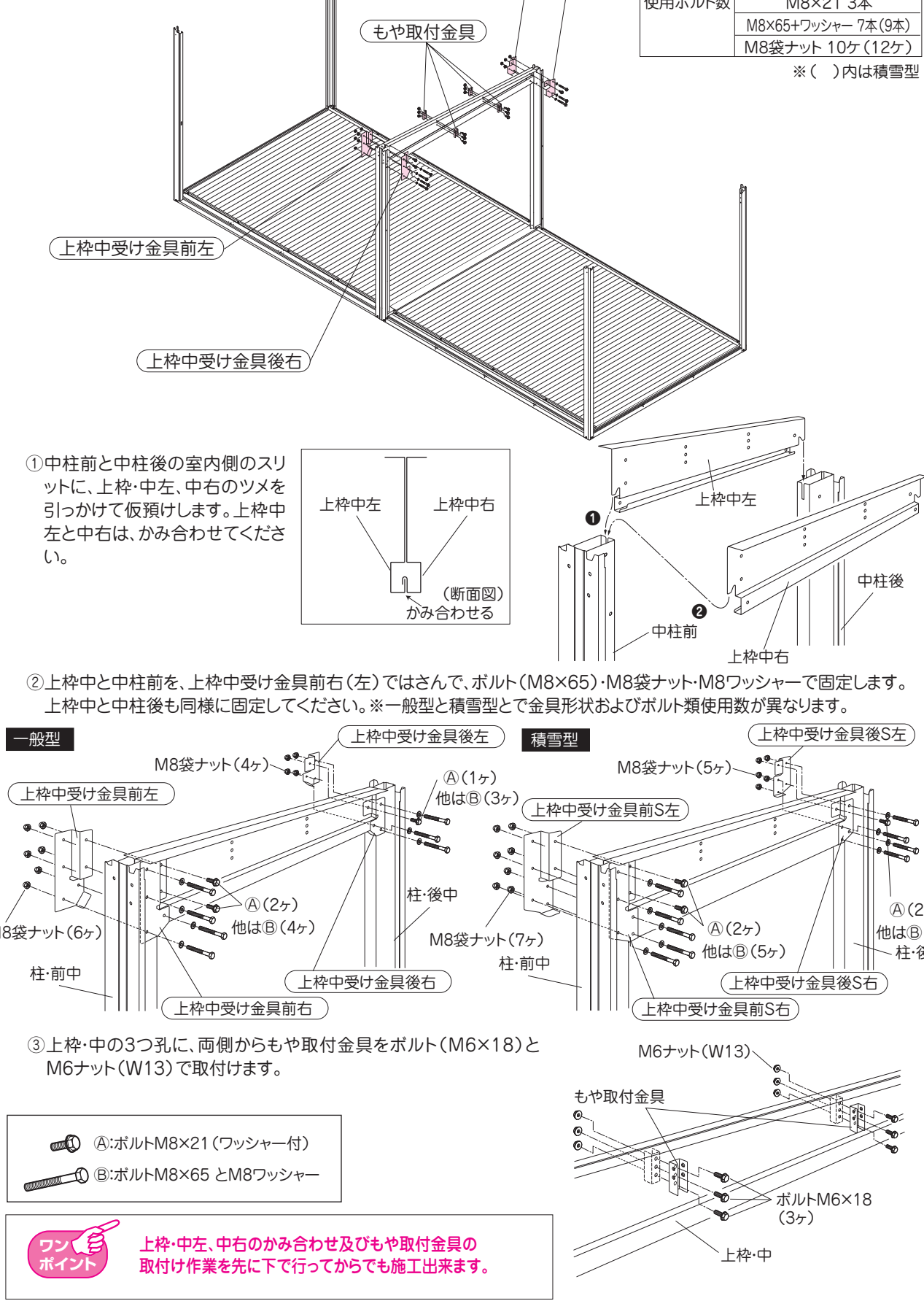


5下枠中カバー・床押えの取付け

- ① 下枠中カバー前を下枠前の根本に設置します。
- ② 下枠中カバー後(右)・下枠中カバー後(左)を中柱後の根本に設置します。1 2
- ③ 床押えを下枠前OD・土台前・下枠後に取り付けます。



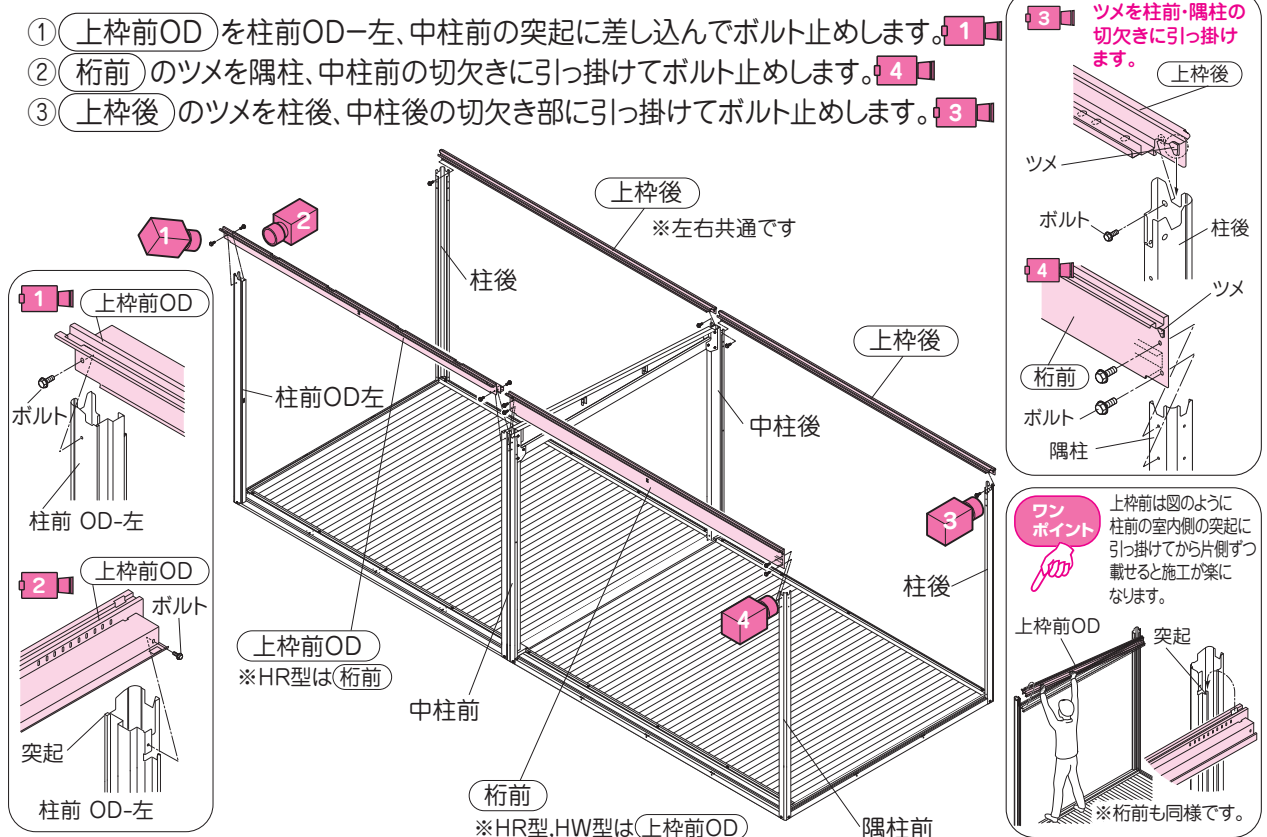
6上枠中の組立



7上枠前後の取付け

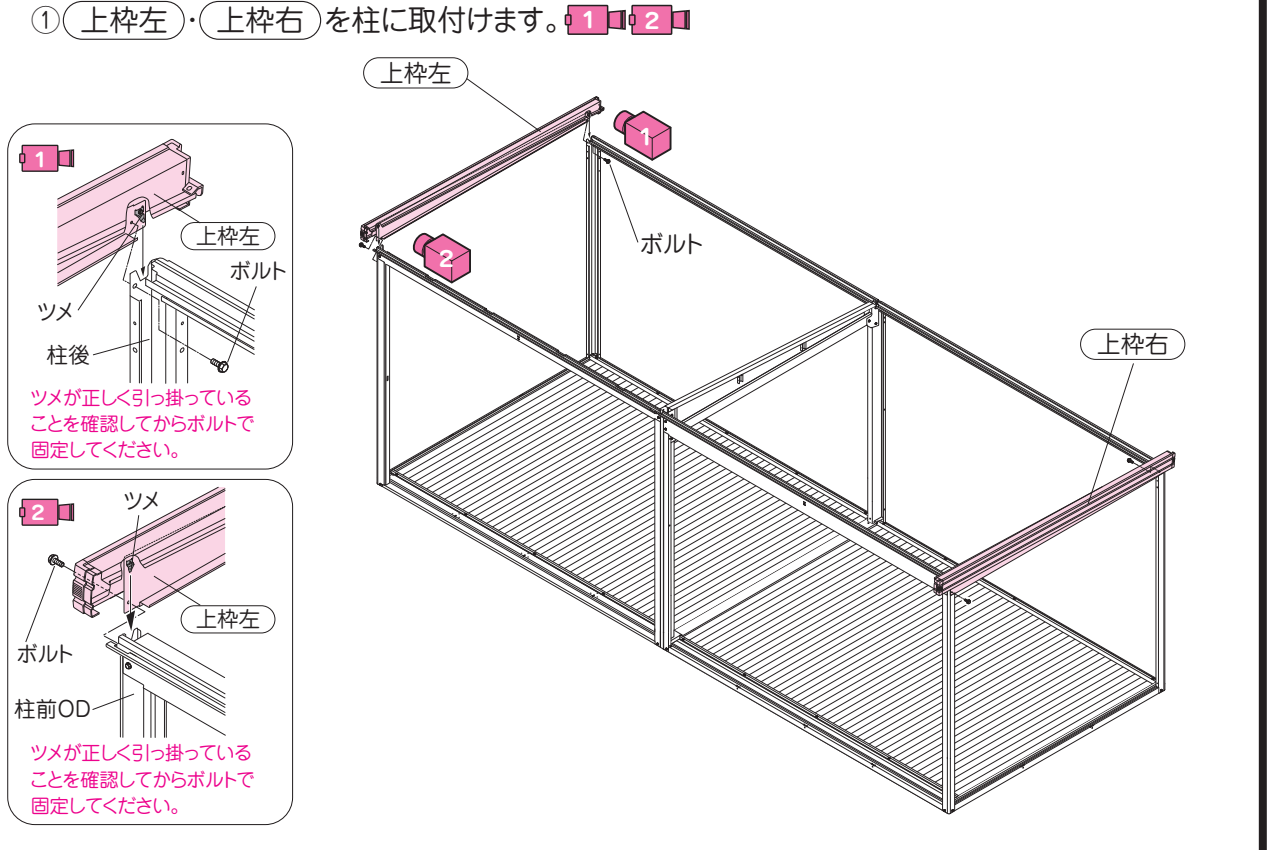
※この工程はHL型で説明しています。

使用ボルト数 12本



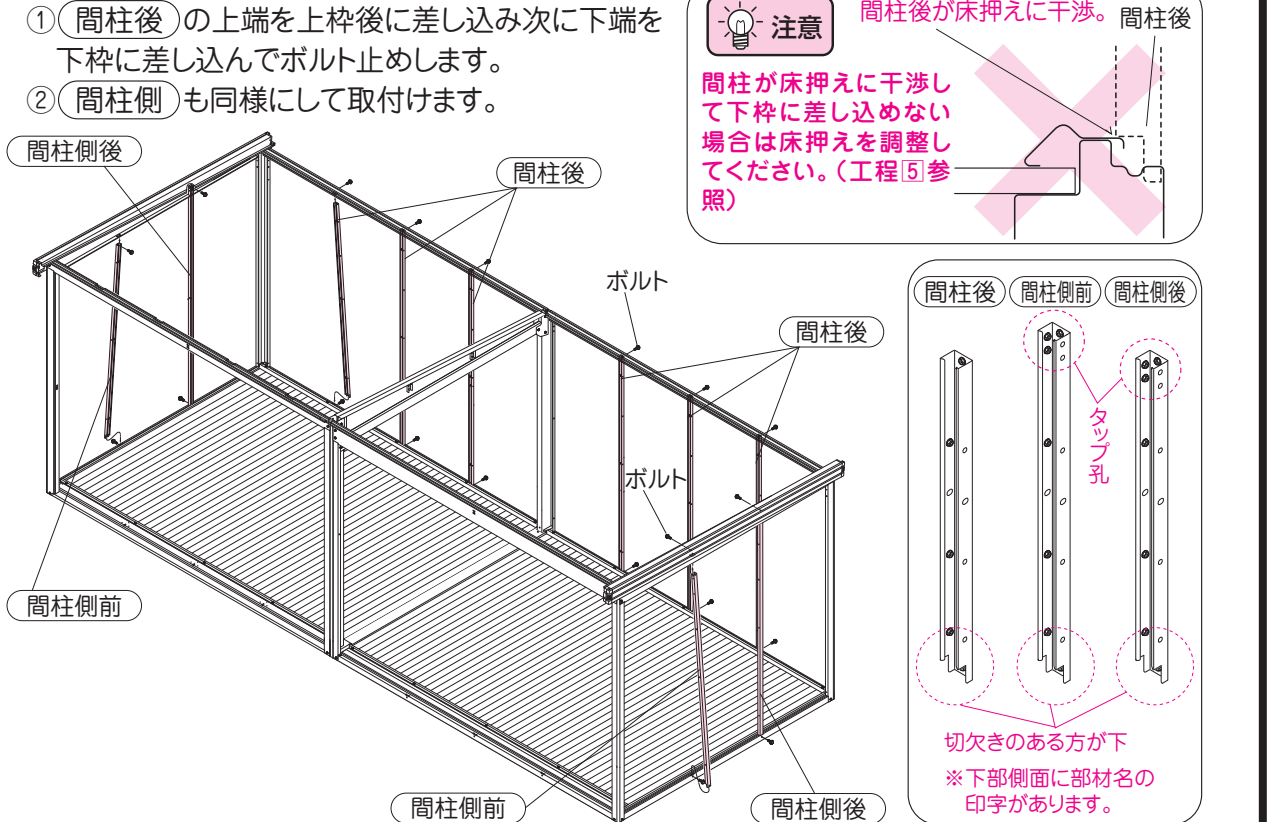
8上枠左右の取付け

使用ボルト数 4本



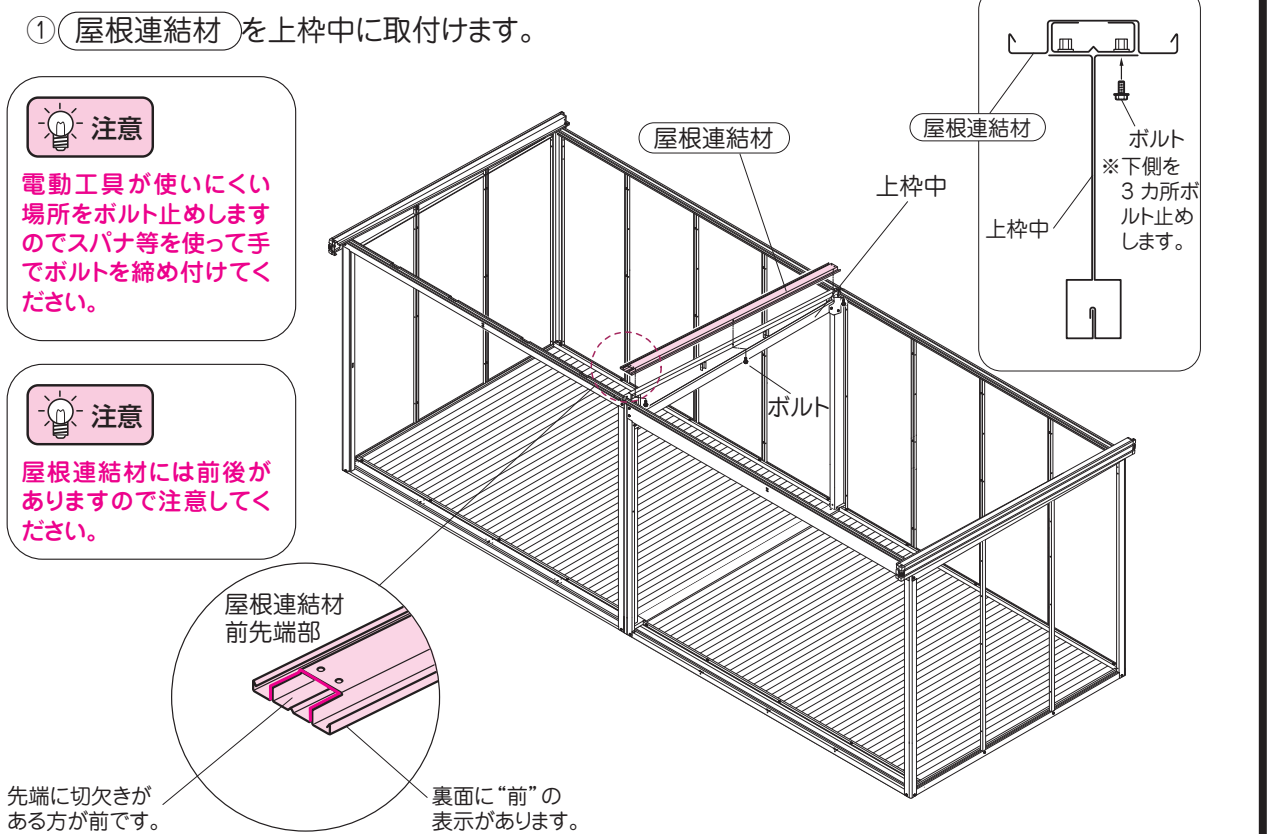
9間柱側・後の取付け

使用ボルト数 20本



10屋根連結材の取付け

使用ボルト数 3本



11屋根の取付け

使用ボルト数 開口51タイプ 56本 開口58タイプ 64本

